



2024年10月期 通期決算補足説明資料

2024年12月13日
株式会社モルフォ（東証グロース：3653）



Vision

Rise above what we see, to realize what we feel
-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

INDEX

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年10月期 連結決算概要
3. 2024年10月期 トピックス
4. 2025年10月期 通期連結業績予想
5. Appendix

1. エグゼクティブサマリー

■ 業績伸長

連結売上高3,300百万円（前年同期比+38.4%）、連結営業利益257百万円（前年同期比+ 501百万円）、連結経常利益298百万円（前年同期比+ 490百万円）、親会社株主に帰属する連結当期純利益301百万円（前年同期比+601百万円）となり、過去最高売上を達成し、営業利益についても2019年10月期以来の黒字転換。

■ 戦略領域

①スマートデバイス、②車載/モビリティ、③DXの3つの「戦略領域」。イメージングテクノロジーを軸に高付加価値ソリューションの開発、顧客企業の課題解決へ取り組む。パートナー企業や顧客企業との連携を推進し、ドメインナレッジの蓄積と継続性・収益性の高いストック型ビジネスモデルにより事業拡大。2024年10月期は、中国向けスマートデバイスが売上の増加を牽引。

■ 中期経営計画「Vision2024」

「Rise above what we see, to realize what we feel -人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-」をビジョンとして、テクノロジーによるイノベーションを通じた顧客価値の最大化を目指す。生活の利便性向上、安心安全な生活環境の提供、生産性向上の実現による社会問題の解決へも貢献。

2. 2024年10月期 通期決算概要

連結PLサマリー



- 連結売上高：ロイヤリティ収入の増加（前年同期比+640百万円）、開発収入の増加（前年同期比+337百万円）
- 連結営業利益：ロイヤリティ収入、開発収入の増加および開発効率の改善により、継続して黒字化
- 連結経常利益：持分法投資利益の増加により、前期比490百万円の改善
- 連結当期純利益：上記利益の影響および繰延税金資産計上により、前期比601百万円の改善

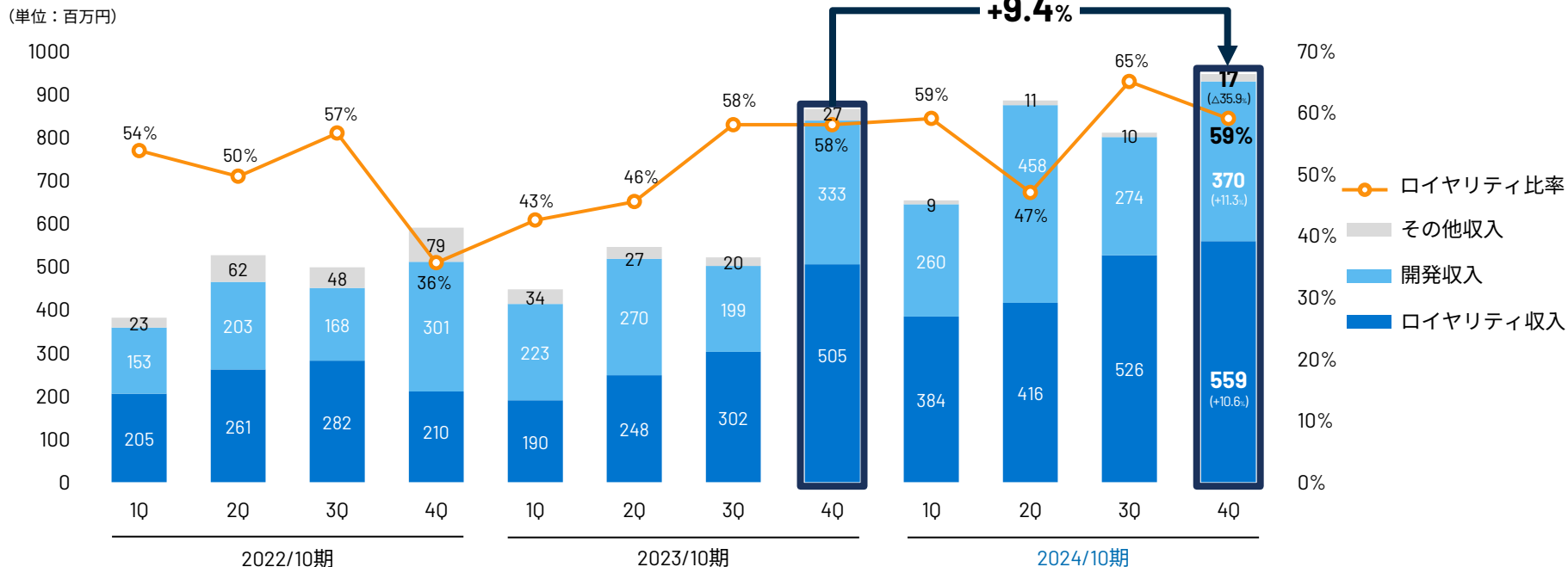
(単位：百万円)	2023/10期 通期連結業績	2024/10期 通期連結業績	増減
連結売上高	2,383	3,300	+917
連結営業費用	2,627	3,043	+416
連結営業利益	△ 244	257	+501
連結経常利益	△ 192	298	+490
親会社株主に帰属する 連結当期純利益	△ 300	301	+601

※増減額は百万円未満切捨て

売上収益構成（四半期推移）



- ロイヤリティ収入：スマートフォン・PC向けのロイヤリティの増加により、前年同四半期比+10.6%
- 開発収入：車載はAD/ADAS向け、建設DXやインフラ設備DXなどが増加し、前年同四半期比+11.3%

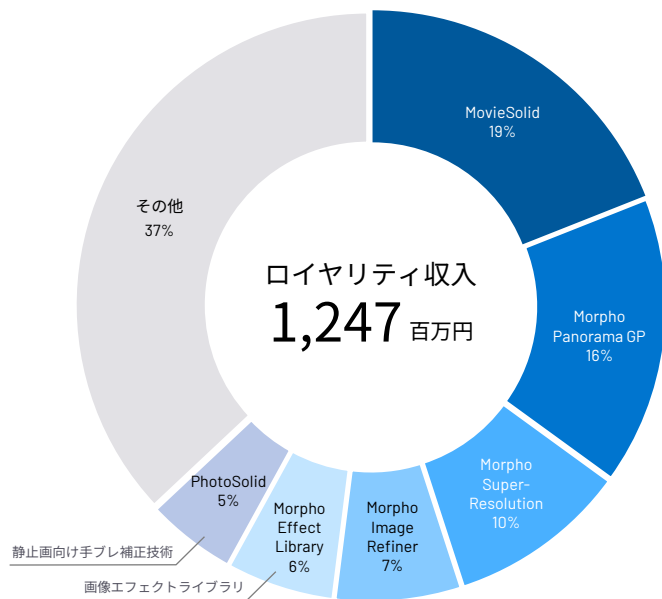


売上収益構成 - ソフトウェア製品別 -

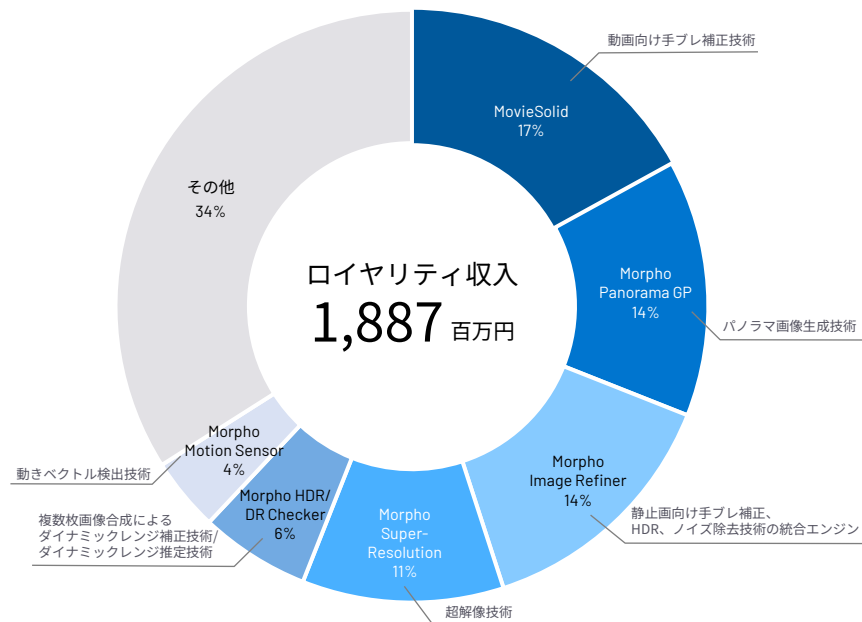


- 主力製品（MovieSolid、Morpho Panorama GP、Morpho Image Refiner）の売上増加により、ロイヤリティ収入全体の増加に貢献

■ 2023/10期



■ 2024/10期

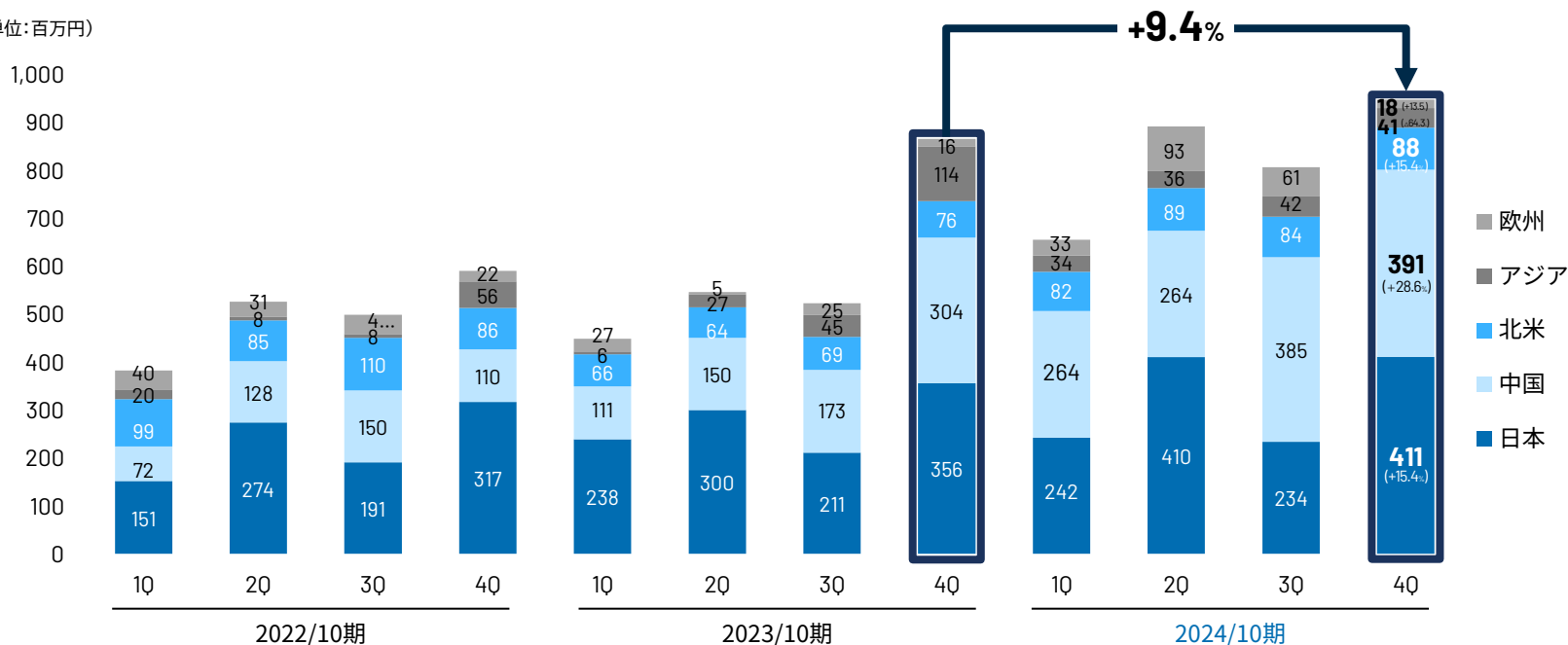


%はロイヤリティ収入に対する割合

売上収益構成 - 地域別 - (四半期推移)

- 日本：引き続き車載・DXの開発収入が増加し、前年同四半期比+15.4%
- 中国：スマートフォンのロイヤリティ収入が大幅に増加し、前年同四半期比+28.6%
- 北米：ロイヤリティ収入が堅調に推移

(単位:百万円)



※地域分類は原則、顧客所在地に依拠

3. 2024年10月期 トピックス

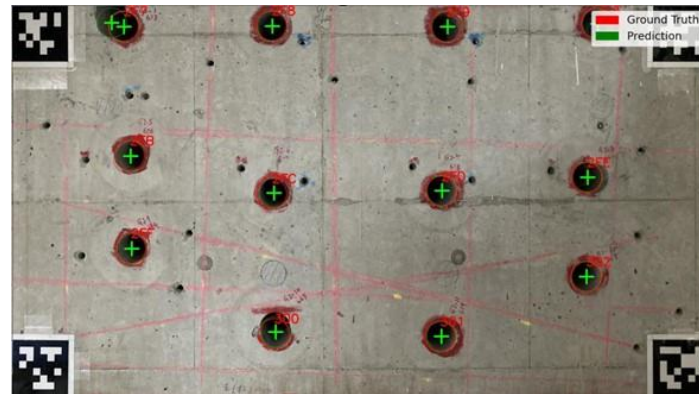
1 | ライト工業、EARTHBRAINとともに、AIと画像処理による高精度な削孔座標検知技術「削孔位置画像計測システム Quick Drafter」を開発

- 本システムは、落橋防止装置施工の工程中、コンクリート削孔を実施した際の削孔位置をスマートフォンのカメラで撮影することで、自動で孔位置の計測から図面化する技術
- 計測や図面作成時間や計測ミスが削減する他、高所・足場の悪い現場での作業時間短縮による安全性向上にも繋がる

スマートフォンにて削孔画像撮影



アプリケーション処理結果



詳細については、下記のプレスリリースをご参照ください。

- 本プレスリリース：2024年8月27日発表「[モルフォ、ライト工業およびEARTHBRAINとAIと画像処理による高精度な削孔座標検知技術「削孔位置画像計測システム Quick Drafter」を開発](#)」

- 目的

- (1) 組込機器向け AI 技術分野における先端技術の提供
- (2) SSS が顧客に提供する商品又はサービスへの当社が有する技術及び人材の活用
- (3) 双方が有する技術、ノウハウ、情報等を用いた研究開発を具現化することで成長と持続可能な利益を実現

- 資金使途

- (1) 研究開発投資

今後大きな成長が見込まれる車載カメラをはじめとしたモビリティ領域や、スマートフォンをはじめとしたスマートデバイス領域での応用を目的として、AIを用いた新たな画像認識技術や画質改善技術について、研究開発に関する投資を行う予定です。

- (2) 人材投資

モルフォの更なる成長のため、画像処理及びAIを活用した研究開発を行うための研究者の確保並びに質の高いサービス提供を継続するための事業開発力の強化には優秀な人材の確保が必要なことから、新たな人材の採用を目指して採用費等に投資してまいります。

詳細については、下記のプレスリリースをご参照ください。

- 本プレスリリース：2024年9月13日発表「[モルフォ、ソニーセミコンダクタソリューションズとの資本業務提携に関するお知らせ](#)」

4. 2025年10月期 通期連結業績予想

I 過去最高売上を更新し、全セグメントで増益

- 海外ではスマートフォン・PC 向けのロイヤリティ収入が引き続き拡大する見込み
- 国内では車載・DX 向けの受託開発収入を伸長させ、将来のライセンスビジネスに繋げていく
- 新たな独自製品を市場に導入し、売上を創出していく

(単位：百万円)	2024/10期 通期連結業績	2025/10期 通期連結業績予想	増減
連結売上高	3,300	3,700	+399
連結営業費用	3,043	3,320	+276
連結営業利益	257	380	+122
連結経常利益	298	410	+111
親会社株主に帰属する 連結当期純利益	301	320	+18

5. Appendix

四半期別売上収益構成（数値）



	2022/10月期				2023/10月期				2024/10期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減率 (前年同四半期比)
(単位：百万円)													
ロイヤリティ収入	205	261	282	210	190	248	302	505	384	416	526	559	+10.6%
開発収入	153	203	168	301	223	270	199	333	260	458	274	370	+11.3%
その他収入	23	62	48	79	34	27	20	27	9	11	10	17	△35.9%

四半期別売上収益構成 - 地域別 -



(単位：百万円)	2022/10月期				2023/10月期				2024/10期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減率 (前年同四半期比)
日本	151	274	191	317	238	300	211	356	242	410	234	411	+15.4%
中国	72	128	150	110	111	150	173	304	264	264	385	391	+28.6%
北米	99	85	110	86	66	64	69	76	82	89	84	88	+15.4%
アジア	20	8	8	56	6	27	45	114	34	36	42	41	△64.3%
欧州	40	31	40	22	27	5	25	16	33	93	61	18	+13.5%

中期経営計画 Vision2024

※2025年10月期～2027年10月期の「事業計画及び成長可能性に関する事項 - 中期経営計画 Vision2027 - 」につきましては、2024年12月13日に別途開示いたします。

ビジョン

Rise above what we see, to realize what we feel
—人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう—

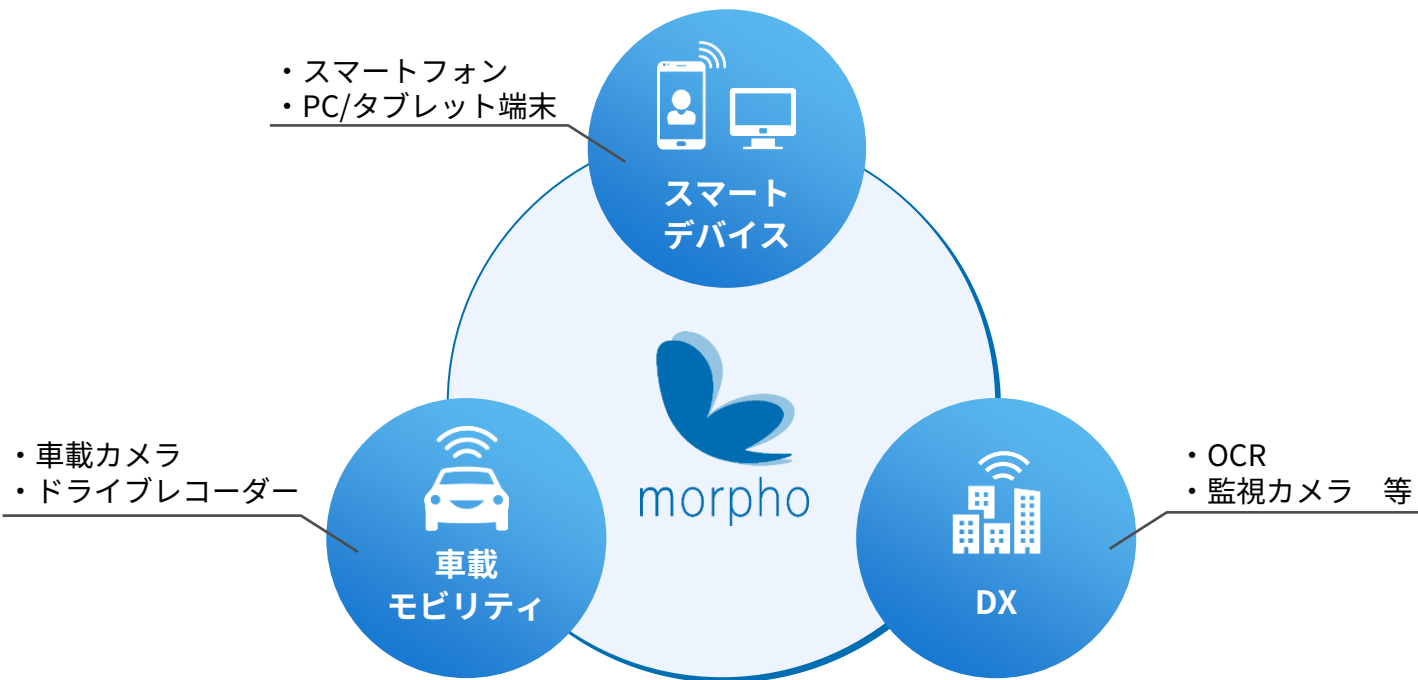
経営目標

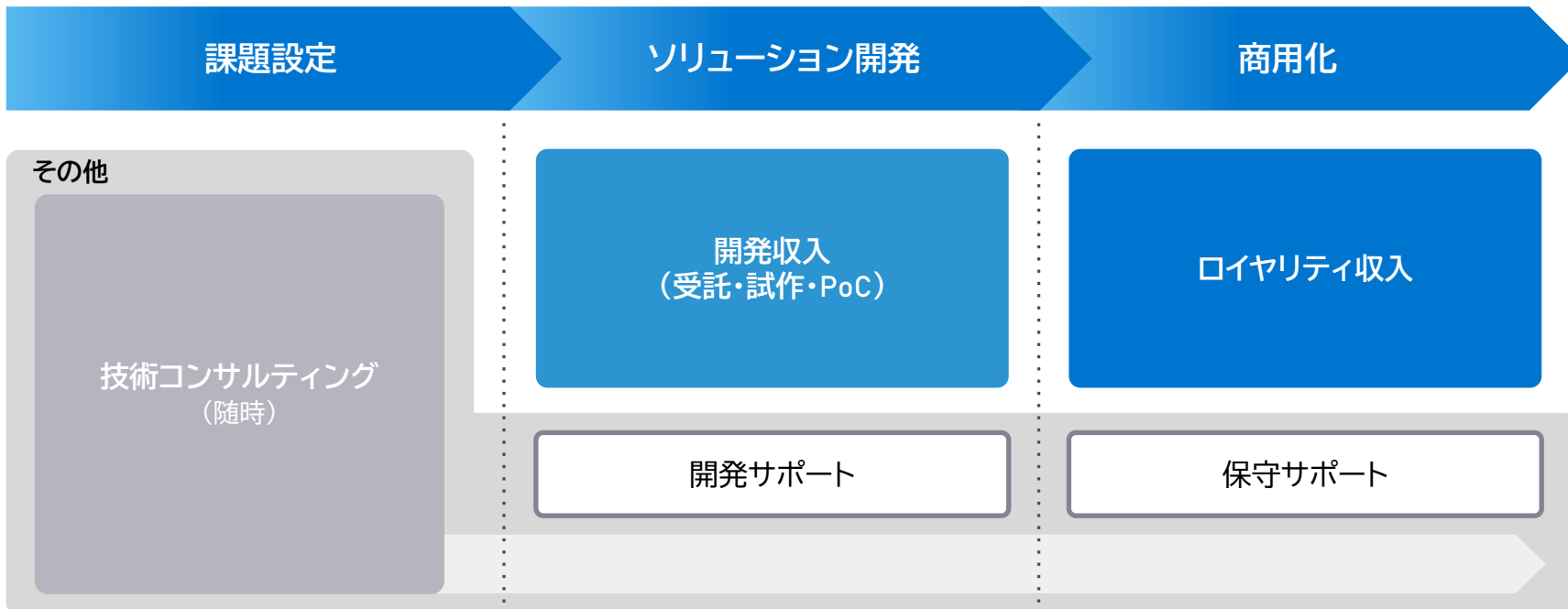
イノベーションを通じて顧客価値を最大化する

基本戦略

特定セグメントに経営資源を集中し、競合との差別化を実現することにより競争に勝つ

先進のイメージング・テクノロジーにより、利便性・安心安全・生産性の向上に貢献する





01

選択と集中による効率的な売上・利益最大化

競争優位の商品を重点的に強化・顧客ニーズを即時把握し高確度の商談へ集中

02

主要スマートフォン・PCチップセットメーカーとの関係強化

未公開技術情報へのアクセス・ソリューション最適化・共同マーケティング

03

戦略的パートナーシップを通じた事業拡大

商品ラインナップ強化・開発リソースの最適化による効率化・新規顧客開拓

01

既存顧客との連携継続・強化

共同研究開発を継続・拡大

02

自社商品によるロイヤリティビジネス事業化

独自商品開発および車載SoCメーカーとのパートナー連携

03

戦略的提携によるビジネス創出

資本業務提携締結等を活用した、既存ビジネスの付加価値向上と新規ビジネス協創を推進

01

AI-OCR技術を用いたビジネス拡大

文書系OCRを起点に、デジタルアーカイブ、BPOビジネスへ展開

02

監視カメラ画像解析AIで安心安全なまちづくりに貢献

AIカメラによるバリアフリーの実現、駅の安全管理、リモートでのメンテナンス業務の効率化

SDGsへの取り組み

当社のサステナビリティ課題への事業取り組み例



	主要テーマ (重要課題)	当社の取り組み (方針/具体的な取り組み)	関連する主なSDGs
E Environment	地球温暖化対策、資源循環型社会	環境負荷低減への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 搭載機器に合わせて高精度/高速処理、低消費電力を実現する画像処理/AI技術 etc. 情報資源のデジタル化に貢献 <ul style="list-style-type: none"> 近代書籍対応AI-OCRソフト「FROG AI-OCR」 	
	安全で持続可能な社会	安心・安全・便利な街づくり <ul style="list-style-type: none"> 自動車分野、高度運転支援システム等向け技術開発 監視カメラ向け画像解析ソリューション「みまもりAI：Duranta」 etc. 	
S Social	イノベーションと経済成長	研究開発を通じた産業と技術革新への貢献 <ul style="list-style-type: none"> AIソリューションによる検査の自動化 大学の研究プロジェクトに推論エンジンを提供し、シミュレーションの高速化に寄与 パートナーと連携し、既存ビジネスの付加価値向上と新規ビジネス協創を推進 etc. 	

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる場合がございます。



お問い合わせ先
コーポレート戦略部 IR担当
E-Mail : m-info-ir@morphoinc.com